

平成27年度

病児保育、夜間保育、 ベビーホテル等の 利用実態に関する 調査研究報告書



社会福祉法人 日本保育協会

平成27年度

病児保育、夜間保育、ベビーホテル等の
利用実態に関する調査研究報告書

社会福祉法人 日本保育協会

序

本報告書は、国庫補助事業として日本保育協会が実施した「平成27年度病児保育、夜間保育、ベビーホテル等の利用実態に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

本調査研究事業は国庫補助事業としての病児保育事業実施施設および全国の夜間保育所、ベビーホテルへ郵送法により調査票調査を行い実態を把握いたしました。

今年度はとくに病児保育事業実施施設のうち、病児対応型、病後児対応型、訪問型、体調不良児対応型のそれぞれに集計結果の分析と考察を加えております。

また、集計値だけでは不明な具体的な部分をヒアリングで探究しています。

ヒアリングでは病児対応型の病児保育実施施設（病院、診療所、保育園）や優良な夜間保育所等を実地に訪問して事例を記録しております。

これにより各事業を実施する際の課題と対応策、人材不足などの問題への対応の仕方にもさまざまな好事例があることがわかりました。

これらの調査研究結果をもとにして各調査研究委員が執筆し本書が完成いたしました。

本書を、今後の病児保育等の実施の参考にしていただければ幸いです。

このたびの調査研究事業の実施にあたりまして、大方美香委員（大阪総合保育大学教授）、木野 稔委員（中野こども病院院長）、橋詰啓子委員（武庫川女子大学助手）、小島賢子委員（兵庫大学准教授）、楠本洋子委員（神戸市立井吹西児童館放課後児童支援員）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査対象病児保育事業実施施設の皆様、夜間保育所の関係者の皆様、ベビーホテル関連の皆様またヒアリングにご協力いただきました施設の関係者の方々のご協力に対し深く感謝の意を表するものであります。

平成28年 3月

社会福祉法人 日本保育協会

平成27年度 病児保育、夜間保育、ベビーホテル等の利用実態に関する調査研究報告書

目次

序

第1章 調査研究の目的及び方法	1
-----------------	---

第2章 総論 病児保育、夜間保育、ベビーホテルの今日的課題

…… (木野 稔 大方美香) …… 7

第3章 調査結果の概要分析

1 病児保育事業実施施設〔病児対応型〕	(橋詰啓子)	21
2 病児保育事業実施施設〔病後児対応型〕	(橋詰啓子)	39
3 病児保育事業実施施設〔体調不良児対応型〕	(橋詰啓子)	57
4 夜間保育事業実施施設	(橋詰啓子)	63
5 ベビーホテル施設調査	(橋詰啓子)	74

第4章 調査結果の考察

1 病児保育事業〔病児対応型〕	(橋詰啓子 木野 稔)	91
2 病児保育事業〔病後児対応型、訪問型〕	(橋詰啓子 木野 稔)	103
3 病児保育事業〔体調不良児対応型〕	(橋詰啓子 木野 稔)	114

第5章 地域事例編

1 病院関係の事例5つ		
①保坂小児クリニック 枚方病児保育室	(小島賢子)	121
②中野こども病院 アリス病児保育室	(小島賢子)	126
③いなみ小児科病児保育室「ハグルーム」	(小島賢子)	133
④よいこの小児科さとう 病児保育室よいこのもり	(小島賢子)	139
⑤早川小児科クリニック 病児保育室カンガルー	(小島賢子)	144
2 福祉施設の事例5つ		
①四恩学園乳児院 病後児保育室	(楠本洋子)	148
②砂原保育園 病後児保育室とまと	(楠本洋子)	153
③葛飾区住吉保育園 病後児保育室たんぽぽ	(楠本洋子)	158
④四恩学園 四恩みろく保育園	(楠本洋子)	162
⑤第2どろんこ夜間保育園	(楠本洋子)	167

第6章 展望編 課題と展望	(木野 稔 大方美香)	173
---------------	-------------	-----

付録 調査票

・病児保育事業実施施設（病児対応型、病後児対応型、訪問型）調査票	185
・病児保育事業実施施設（体調不良児対応型）調査票	192
・夜間保育所調査票	194
・ベビーホテル調査票	199

